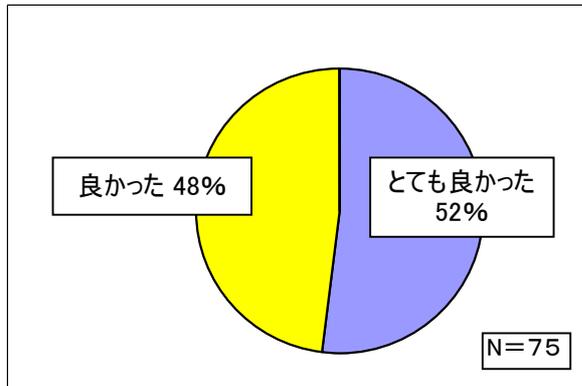


## 【企業・団体】

# 平成25年度 情報交換会 アンケート集計結果

■期日:平成25年8月9日(金) ■会場:ピアザ淡海  
■対象:情報交換会参加者(75名より回答)

## 1 今回の情報交換会はいかがでしたか？



以下、アンケートの記述欄から抜粋して紹介します。  
なお、記述内容により、複数のカテゴリーに分けてあります。企業・団体の方を、以下「支援者」と標記させていただくことがあります。

### 理由等自由記述欄より

#### 【教職員と情報交換をして】

- ・ 学校の先生方の声・悩みなど、生の声・ニーズを聞くことができた。資金面の問題など、すぐに解決はできない事柄もあるが、長い目で教育を考えるうえで必要なことが、明確になった。
- ・ 先生方の本音(率直な意見)が、少し聞けたことで貴重だった。「打ち合わせ」について意見交換ができたことも、とても参考にさせてもらえる内容だった。
- ・ いろいろ先生のお話を聞いて良かったです。学校の実態を知ることが、今後の活動で重要です。
- ・ 今まで先生に対して、言えなかった支援活動上での悩みを話すことができました。
- ・ 学校が望んでいる支援とその方法が、何となくつかめた。今後の支援につなげていきたい。
- ・ 初めての参加で、学校側の要望、意向が判ったこと、先生達の悩みも理解できた。今後の連携を進めるうえで、大変参考になった。
- ・ 学校の先生が思っている悩みを聞いてよかった。話をしている中で、少しは悩みが解消でき、今後支援につながればいいと思っている。

#### 【支援者と情報交換をして】

- ・ ある支援者の方から、今後の支援メニューにかかるあり方を提示していただき、内容のある意見をたくさん聞けたので、短い時間ではあったが、満足のいくものであった。
- ・ 他の支援団体さんももつ悩みなども聞こえて良かった。支援者側からのPR方法の具体策を聞く事ができた。
- ・ 学校のことを考えて、支援される方のお話を聞き、その通りだと思った。子どもの時間をもらっているということ、我々の言動が子どもの成長や、果ては学校や教師の評価にも関わっているということ。
- ・ 異分野の職業について、生の声を知ることができた。すぐに仕事に反映できる事ではないですが、発展させていきたい。

### 【運営等全般について】

- ・ 学校さん側の話を直接聞かせていただけたり、登録団体さんとも話げできたので、よかったですと思います。登録企業の参加者がバラバラの班であったことも、よかったですと思う。
- ・ しかたのないことですが、時間の都合、少ししか交流できなかった…。でも、この短い時間こそ、とても意味のある事だった。
- ・ 少人数での実施のため、相互理解が進んだ。時間は足りなかった。
- ・ 情報交換会が少人数で、よく話が出来た。先生のリードがたいへん良かった。来年もこの方式を希望する。
- ・ 学校の先生とこんな形で話すことがないので、もっと全国的に広がればと思う。

## 2 その他、お気づきの点があればご記入ください。

- ・ 今回の意見交換はよかった。さらに分野を分けて、先生と支援者が情報交換できれば、実用性が高くなると思う。
- ・ テーマ別に集まって実施するのも、ポイントがしぼれてよいと思う。
- ・ 教職員の求めている出前講座とは何か？ ニーズを聞かせていただいて、ニーズのある場での交流が必要だと思う。
- ・ 素人・プロといってもその世界であり、「教育」の世界では素人であるなかで、現場・学校という非常にデリケートな世界に入りこむキケンな部分を、もっと理解する必要があるかもしれません。
- ・ 情報交換会に参加されていない先生達にも、情報が伝わるような仕組みが必要に思う。
- ・ 「におねっと」を全教職員の方々をご存じとなるよう、PRしていただきたいと思う。
- ・ 「におねっと」が充実しているので、いつもお声をかけていただき、感謝している。
- ・ もっと時間をかけた、代表者の会合(企業側・学校側の代表者)を別の日に設定すればいいと思う。
- ・ この活動(メニューフェアを含め)、全国展開していただきたいと思う。
- ・ 出前授業について、テーマによっては地域で取り組んでよい内容のものがあると思いますので、このようなものについては、地域での取り組みを考えて欲しい。
- ・ 他団体さんとの広報の工夫についてもっと話したかった。多くの先生方の意見を聞く機会もあればよかったと思う。
- ・ (情報交換会は)6人でちょうどであるが、もう1グループ、2回やればいい。

### 【しが学校支援センターより】

参加者全員が、とても良かった・良かったと回答した。教職員・支援者がそれぞれの立場で意見を出し合い、連携を進めるにあたって、心がけていること、課題や悩み等を意見交換できたのではないだろうか。

地域で取り組んでいただけるメニューについては、「におねっと」で学校支援メニューの他に、「地域で学ぼう『出前講座』」を紹介しているので、こちらの利用を進めたい。

その他、もっとこのような機会を増やしてほしいという声が多くあった。教職員と支援者が、率直な情報交換をすることにより、連携授業が充実し、より子どもの学びが豊かになることを願う。